

2019年度 安城市在宅 医療・介護連携推進事業 実施報告

一般社団法人 安城市医師会
安城市在宅医療サポートセンター
河井丈幸 永井知直実

在宅医療・介護連携推進事業（介護保険の地域支援事業、平成27年度～）資料 1

- 在宅医療・介護の連携推進については、これまで医政局施策の在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療推進事業（平成25年度～）により一定の成果。それを踏まえ、介護保険法の中で制度化。
- 介護保険法の地域支援事業に位置づけ、市区町村が主体となり、郡市区医師会等と連携しつつ取り組む。
- 実施可能な市区町村は平成27年4月から取組を開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施。
- 各市区町村は、原則として（ア）～（ク）の全ての事業項目を実施。
- 事業項目の一部を郡市区医師会等（地域の医療機関や他の団体を含む）に委託することも可能。
- 都道府県・保健所は、市区町村と都道府県医師会等の関係団体、病院等との協議の支援や、都道府県レベルでの研修等により支援。国は、事業実施関連の資料や事例集の整備等により支援するとともに、都道府県を通じて実施状況を把握。

○事業項目と取組例

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

- ◆ 地域の医療機関の分布、医療機能を把握し、リスト・マップ化
- ◆ 必要に応じて、連携に有用な項目（在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等）を調査
- ◆ 結果を関係者間で共有



（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

- ◆ 情報共有シート、地域連携パス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- ◆ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

（キ）地域住民への普及啓発

- ◆ 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催
- ◆ パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- ◆ 在宅での看取りについての講演会の開催等



（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ◆ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援。

（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- ◆ 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

（カ）医療・介護関係者の研修

- ◆ 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得
- ◆ 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催等

（ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- ◆ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

目次

- (ア) 地域の医療・介護の資源の把握
- (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- (カ) 医療・介護関係者の研修
- (キ) 地域住民への普及啓発
- (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

(ア)地域の医療・介護の資源の把握

- ◆安城市介護・高齢者福祉webにて、各種サービス検索が可能のため、周知を図っていく。

The screenshot shows the website for An City Care and Elderly Welfare. The main navigation bar includes: 介護保険, 利用できるサービス, 予防・健康維持, **サービス検索** (highlighted with a red box), 介護の知恵袋, 認知症, 支援活動, and 在宅医療. Below the navigation bar, the 'サービス検索' section is active, displaying a search interface with the following options:

- 介護サービス事業者検索** (highlighted with a red box): 介護サービスを提供する事業者の情報やサービス内容を紹介しています。
- 医科検索** (highlighted with a red box): 安城市内の在宅患者訪問診療を実施している医療機関の検索結果に遷移します。(「あいち医療情報ネット」に遷移します)
- 歯科検索** (highlighted with a red box): 安城市内の歯科訪問診療を実施している医療機関の検索結果に遷移します。(「あいち医療情報ネット」に遷移します)
- 薬局検索** (highlighted with a red box): 安城市内の薬局の検索結果に遷移します。(「あいち医療情報ネット」に遷移します)
- 訪問看護検索** (highlighted with a red box): 安城市内の訪問看護の検索結果に遷移します。

On the right side of the page, there is a '困ったときの相談窓口' (Consultation Window) section for An City Elderly Welfare, with the phone number 0566-76-1111 and a list of links: 介護保険サービスの相談窓口, 高齢者の悪徳商法被害の相談, 苦情や不服申し立て窓口, and 地域包括支援センター. At the bottom right, there is a 'リンク集' (Link Collection) section with the An City logo and name.

(イ) 在宅医療・介護連携の課題 の抽出と対応策の検討

- 地域ケア推進会議に出席(年9回)。
- 他の地域ケア地区会議にも適宜、出席(計4回)。
- 令和元年6月の地域ケア推進会議にて、「在宅医療と看取りに関する現状」について報告。
- 令和元年7月推進会議の看取りに関する事例報告の支援
- 令和元年9月推進会議の高齢者等実態調査を利用したアンケートの資料作成
- 令和元年10月推進会議の認知症高齢者の事例報告への支援

(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- 安城更生病院地域連携運営会議に出席(年4回)。
- 安城訪問看護ネットワークに毎月出席。
- 安城ケアマネットへの出席(年2回)。
- 訪問歯科診療の依頼受付窓口を担当。
- あいちオレンジタウン構想のモデル事業に協力し、認知症サポート医療関係者等事例検討会の開催を支援。
- 医師会部会の検討テーマである「在宅医療の充実に向けて」の対応策として発足した「在宅医療協力体制」の事務局機能を担当。

在宅医療協力体制

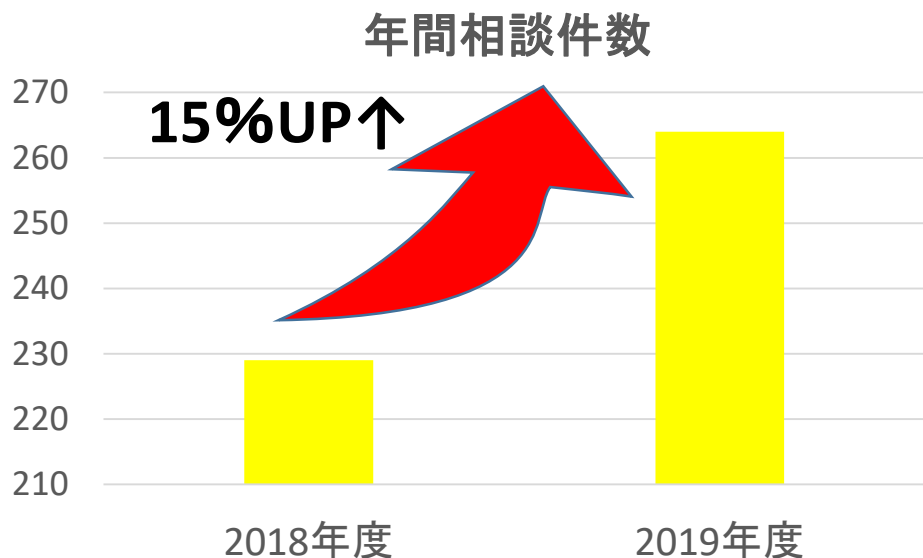
- 在宅医療に携わる医師の負担軽減のため、在宅看取り時の協力体制を構築するとともに、多くの医師が在宅医療に参加できる環境を整えることを目的として、2019年8月より、制度発足。
- 市内13医療機関が参加。
- 制度発足後、2019年度内に5事例の依頼あり。うち2事例はマッチング前に逝去されキャンセル。3事例はマッチング成立したが、実際に出動した事例は無し。
- 2020年2月に制度検証のための検討会を実施し、制度の一部見直しを図った。

(エ) 医療・介護関係者の情報共有 の支援

- サルビー見守りネットへの登録支援(年間11件)。
- 在宅医療協力体制への参加条件として、サルビー見守りネットの利用を前提としたため、前年度に比較して医師(診療所)の新規登録が増加。

(才)在宅医療・介護連携に関する 相談支援

- 在宅医療・介護の連携に関する相談を、医療・介護関係者を中心に実施。
- 相談内容を通じて、連携における課題を把握し、関係機関への働きかけの契機とした。
- 2019年度における相談状況は次スライド以下。



前年度229件
→今年度264件へ

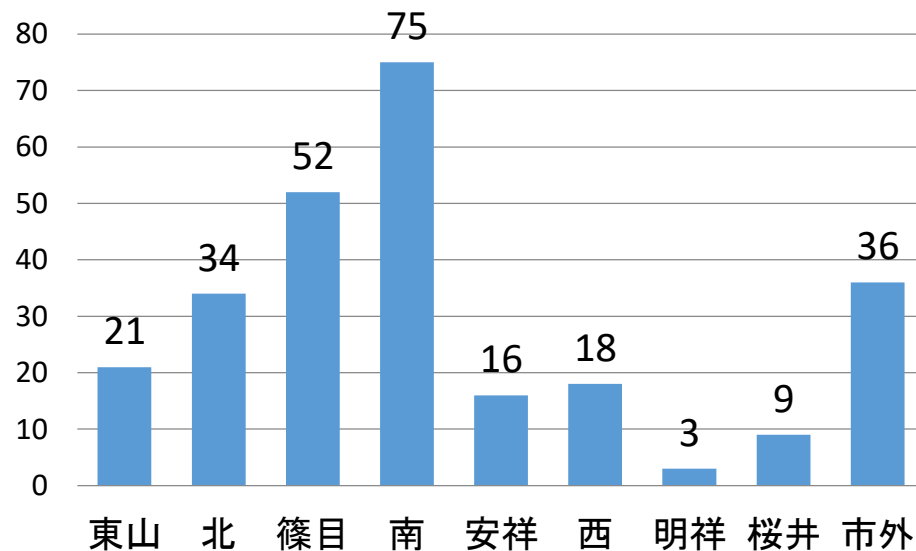
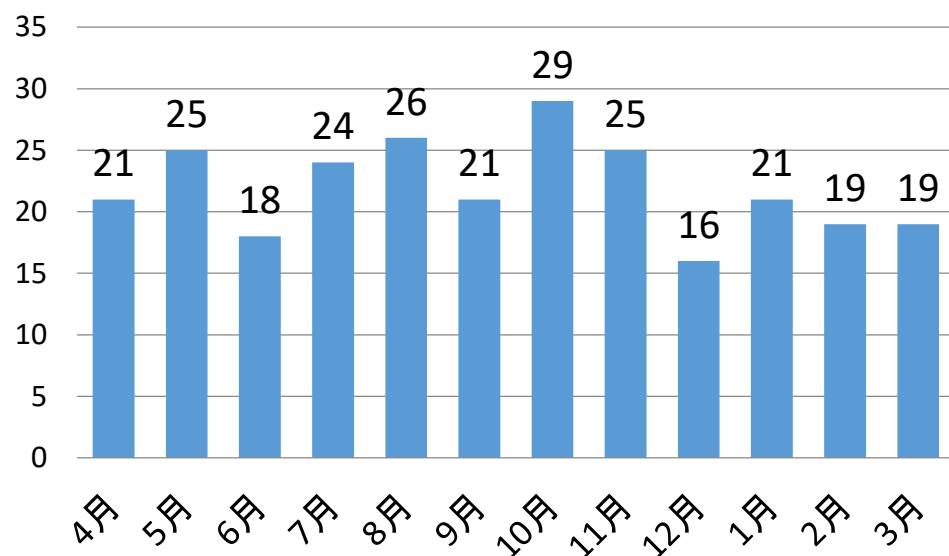
月別・地区別相談件数

- 平均相談件数 22.0件/月。
- 地区別では、安城南地区→篠目地区の順で多かった。

2019年度 月別相談件数

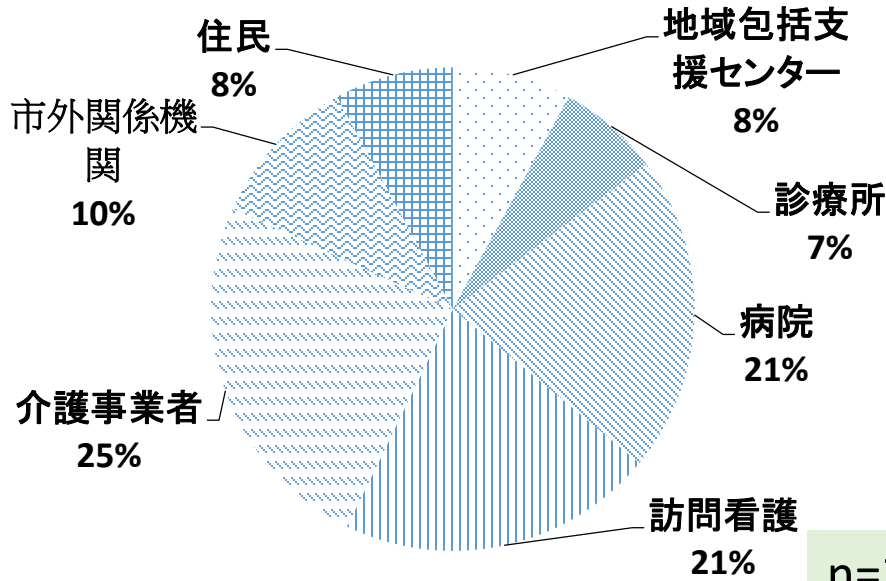
n=264

2019年度 地区別相談件数

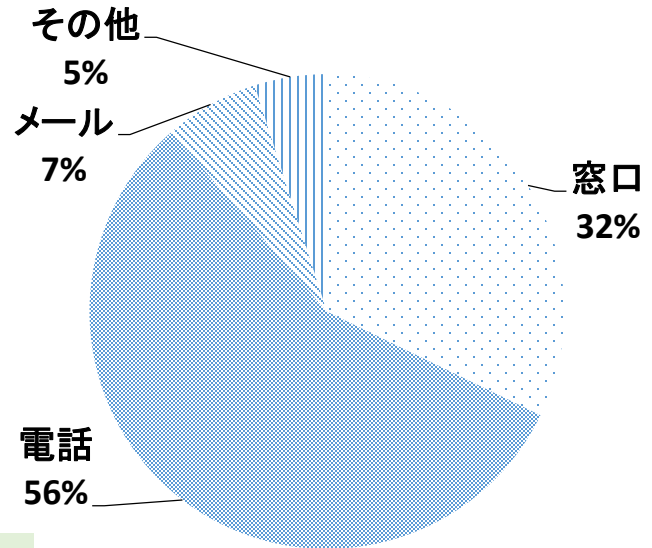


相談の内訳

2019年度 相談者内訳

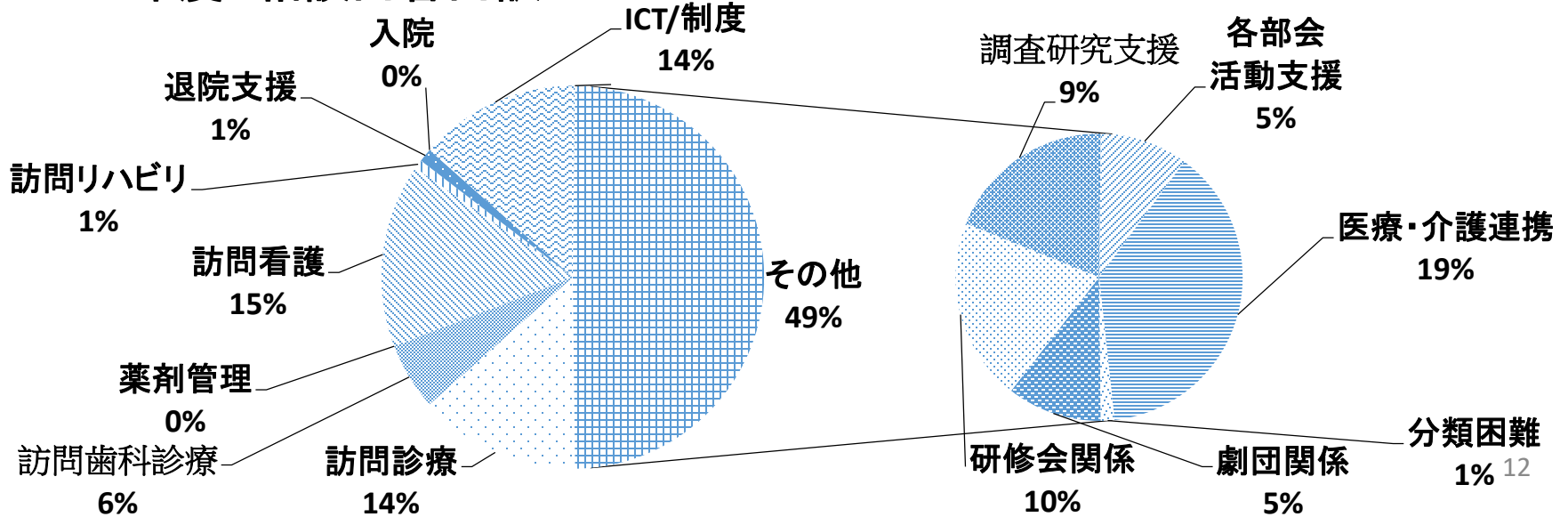


2019年度 相談方法内訳



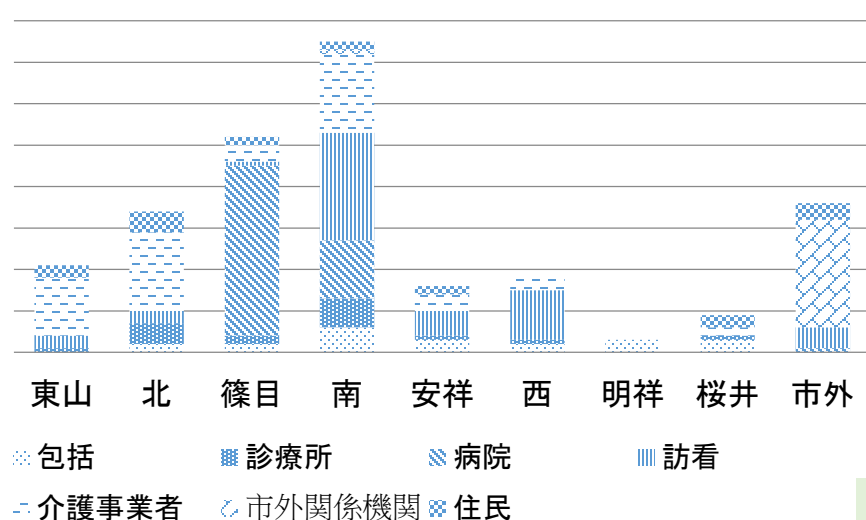
n=264

2019年度 相談内容内訳

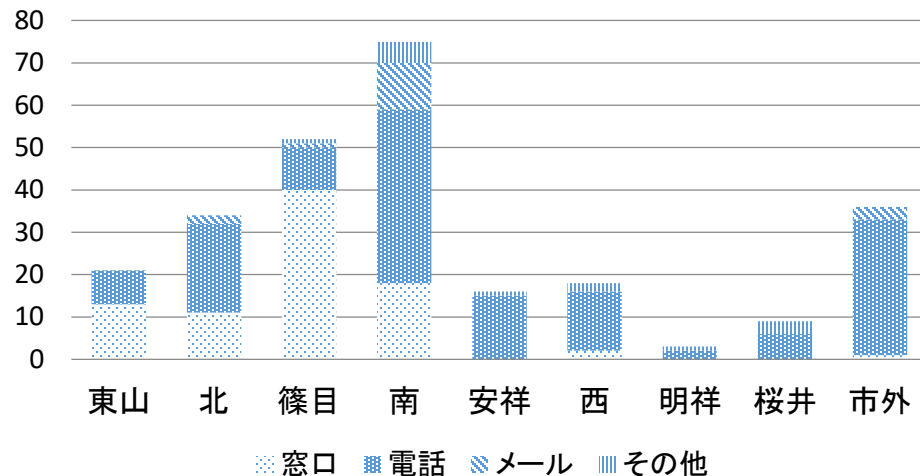


地区別の相談内訳

2019年度 地区別・相談者件数

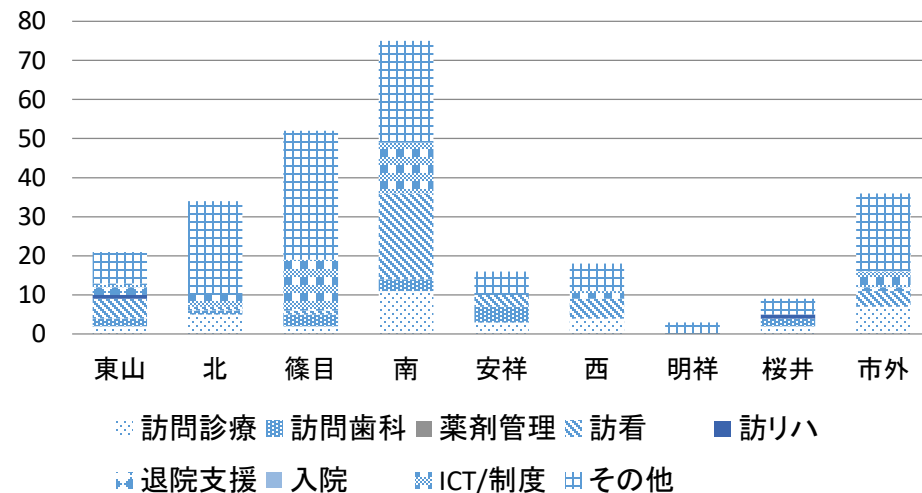


2019年度 地区別・相談方法件数



n=264

2019年度 地区別・相談内容件数



- 総合病院の所在地である篠目・南の地区からの相談が多く、市の南部地域は少なく、医療資源の分布と同じではないが偏りがある。
- 2020年4月1日より医師会管内に窓口が移転したため、窓口来訪者を中心に相談傾向に変化が生じる可能性がある。

(カ) 医療・介護関係者の研修

◆多職種参加型研修会の開催(企画・運営・調整)

- エンドオブライフ・ケア研修会
- 多職種ワークショップ研修会

◆研修会開催の支援

- 医療系部会の研修会開催を支援
- 他部会からの依頼で研修を実施

◆各種研修会への参加

- 市内開催の研修会(4回/年)
- 市外開催の研修会(4回/年)

多職種連携への支援

◆多職種参加型の研修会（エンドオブライフ・ケア研修会・多職種ワークショップ研修会）や映画「ピア」上映会&シンポジウムの開催を通じて、多職種・他部会における連携の推進を図った。

◆ケアマネット部会への支援

- ケアマネジャー育成のための検討会に参加。
- 研修会の企画やラダー等について助言を実施。
- 2020年度のケアマネットの研修会で講師予定（新型コロナウイルスの影響で延期）。

(キ)地域住民への普及啓発

- ◆映画「ピア」上映会 & シンポジウムを実施。
- ◆まちかど講座「在宅医療について」や一般市民からの勉強会等の講師を実施。
- ◆劇団サルビー見守り隊の事務局として、講演や公演の準備・連絡・調整・広報活動等を実施。
- Instagramの写真投稿
- YouTubeのチャンネル動画投稿



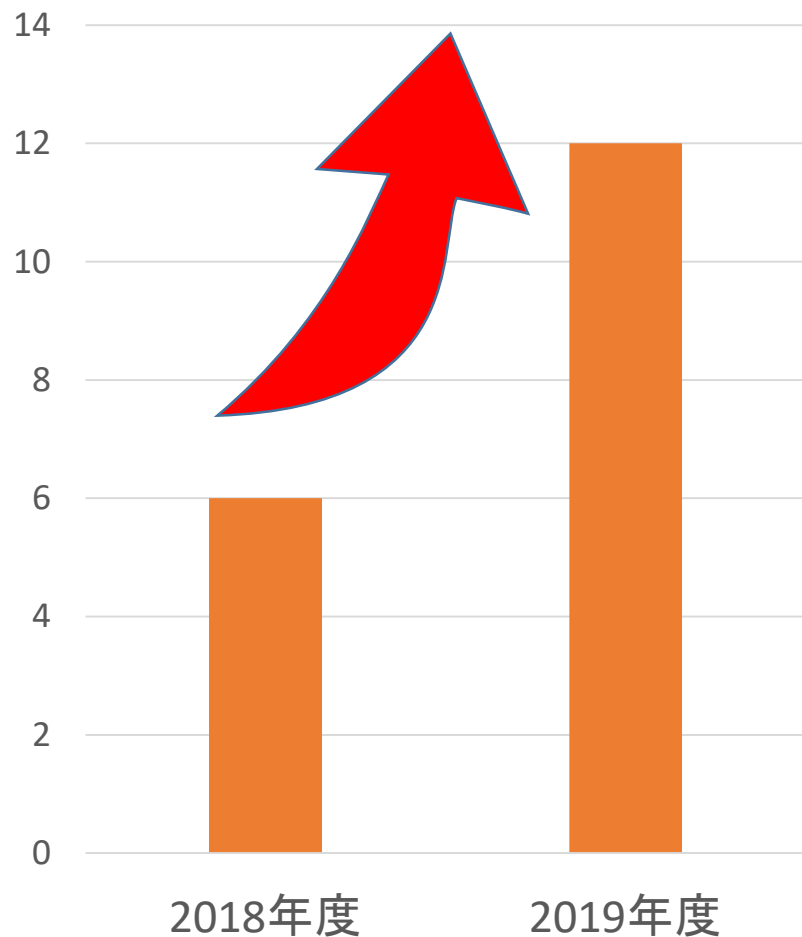
2019年度 劇団活動実績一覧

日時	公演名	内容	演者	観衆
2019/5/23	岡崎市 矢作南学区で公演	認知症への対応	6名	約60名
2019/7/5	シルバーカレッジ21	フレイルについて	6名	約50名
2019/7/14	日本在宅医療連合学会	認知症者の行方不明	3名	数百名
2019/8/1	小学生向け認知症サポーター養成講座	認知症への対応	5名	41名
2019/9/7	安城市地域包括ケア市民フォーラム	人生会議(ACP)	8名	約550名
2019/9/15	日本エンドオブライフケア学会 第3回学術集会	人生会議(ACP)	8名	約100名
2019/10/4	シルバーカレッジ21	人生会議(ACP)	7名	約50名
2019/10/8	小学生向け認知症サポーター養成講座	認知症への対応	5名	71名
2019/11/10	令和元年度8020歯の表彰式	訪問歯科診療	7名	約230名
2019/11/21	鈴鹿市在宅医療ケア勉強会	人生会議(ACP)	9名	約200名
2019/12/3	西尾市 認知症講演会	認知症への対応	6名	約100名
2020/1/25	八千代病院意思決定支援研修	人生会議(ACP)	9名	56名

延べ約1,500名以上の住民等に対し、公演を通じて啓発を実施

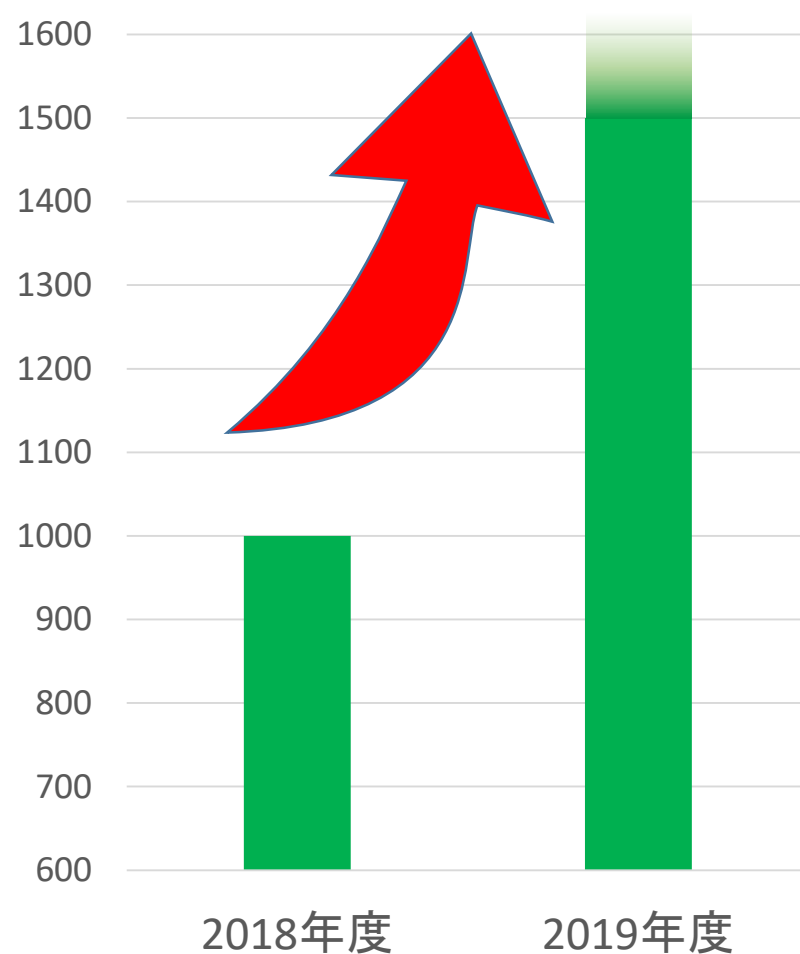
2倍！！

劇団公演回数



1.5倍以上！

聴講人数



(ク)在宅医療・介護連携に関する 関係市区町村の連携

◆サルビー見守りネットのプロジェクト機能を活用し情報共有を図っている。西三河在宅医療・介護連携推進事業担当者会議を、安城市医師会館で開催(1回/3カ月)。

参加機関:

- 豊田加茂医師会(豊田市・みよし市)
- 岡崎市医師会(岡崎市・幸田町)
- 刈谷医師会(刈谷市・知立市・高浜市)
- 西尾市医師会
- 碧南市民病院(碧南市)
- 衣浦東部保健所及び西尾保健所
- 愛知県医師会が主催する在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議(年3回)にも参加。

その他

- ◆専門職としての質向上に寄与するため、学会発表等を実施。
- 日本静脈経腸栄養学会で発表(共同演者)済み。
- 日本在宅医療連合学会で発表(共同演者)済み。
- 日本エンドオブライフケア学会で5演題発表(筆頭演者・共同演者合わせて)済み。

今後の方向性

- 2019年度は人生会議：ACP（アドバンスケアプランニング）の普及啓発に注力して活動したが、2020年度は新型コロナウイルスの影響で研修会等の開催が困難。
- 在宅医療・介護連携推進における課題について、既存のデータやアンケート調査等をもとに評価・分析を行っていく。